

今後について

課題

尾根や谷が連続した厳しい地形での施工が予想されます。また、周辺環境への配慮が必要です。



課題への対応

専門家へ意見を仰いだり、環境調査を実施したりすることで、課題を解決していきます。



全線完成に向けて、今後とも皆様のご協力をお願いします！

国道279号風間浦バイパス 概略計画PIプロジェクトの概要

令和 5 年 1 0 月

●お問い合わせ●

- ◎青森県 県土整備部 道路課 電話：017-734-9651
- ◎青森県 下北地域県民局地域整備部 電話：0175-22-1231

- 風間浦村役場 産業建設課 電話：0175-35-2111 (代表)
- むつ市役所 企画調整課 電話：0175-22-1111 (代表)
- 大間町役場 企画経営課 電話：0175-37-2111 (代表)
- 佐井村役場 総合戦略課 電話：0175-38-2111 (代表)

青森県 県土整備部 道路課

国道279号風間浦バイパスとは

国道279号風間浦バイパスは、平成24年度に県が公表した「下北地域広域避難路確保対策」の計画において、長期検討ルートとして位置付けている区間のうち、風間浦村易国間～むつ市大畑町木野部間の計画延長約14kmのバイパスです。

このバイパスは、観光や物流など平時における利用のほか、複合災害時の広域避難のための避難路及び代替路確保として重要な役割を担う路線です。

目次

1. 国道279号風間浦バイパスとは 1
2. 概略計画PIプロジェクトとは 2
3. 検討の進め方 3
4. アンケート・ヒアリング 4
5. ワークショップ 6
6. 地域懇談会 7
7. 「評価項目の設定」と「比較案の評価」 8
8. 概略計画の決定 10
9. 今後について 12



電子地形図25000（国土地理院）を加工して作成

概略計画PIプロジェクトとは

PIプロジェクトの目的

下北郡風間浦村大字易国間～むつ市大畑町木野部間の国道279号風間浦バイパスについては、令和3年度に新たな津波浸水想定を反映させた概略ルートの見直しを実施しました。

しかしながら、令和3年8月の大雨災害を機に、本バイパスの概略ルート帯やアクセス道路の選定にあたっては、地域との合意形成が不可欠であると判断し、令和4年度～令和5年度にかけて「住民参画型の道路計画」としてパブリックインボルブメント（以下、PI）を実施して、バイパスの概略ルート帯やアクセス道路について検討を行いました。



概略計画は、概ねのルートや基本的な道路構造など、基本的な事項（整備方針）を定める計画のことだよ

PI（パブリックインボルブメント）とは？

計画策定過程において、情報公開や意見聴取など関係する住民・利用者と十分にコミュニケーションを図る仕組みのことです。『市民参画』とも呼ばれています。

PIによる概略計画の検討

概略計画を策定する過程において、整備のあり方などについて地域住民や道路利用者とのコミュニケーションを図りながら、検討を進めてきました。

地域懇談会の開催
沿道住民の代表、地域経済など各界の方々から幅広く意見をいただきました。

アンケート・ヒアリングの実施
現道の問題点や今後の道路整備のあり方について様々な意見をいただきました。

ホームページでの情報提供
概略計画の検討やPIに関する情報をウェブサイトやソーシャルメディアで広く提供しました。

事務局ホームページ X (IBTwitter)

ワークショップの実施
地域住民の各年代の方々との今後の道路整備や地域のあり方について意見交換を行いました。

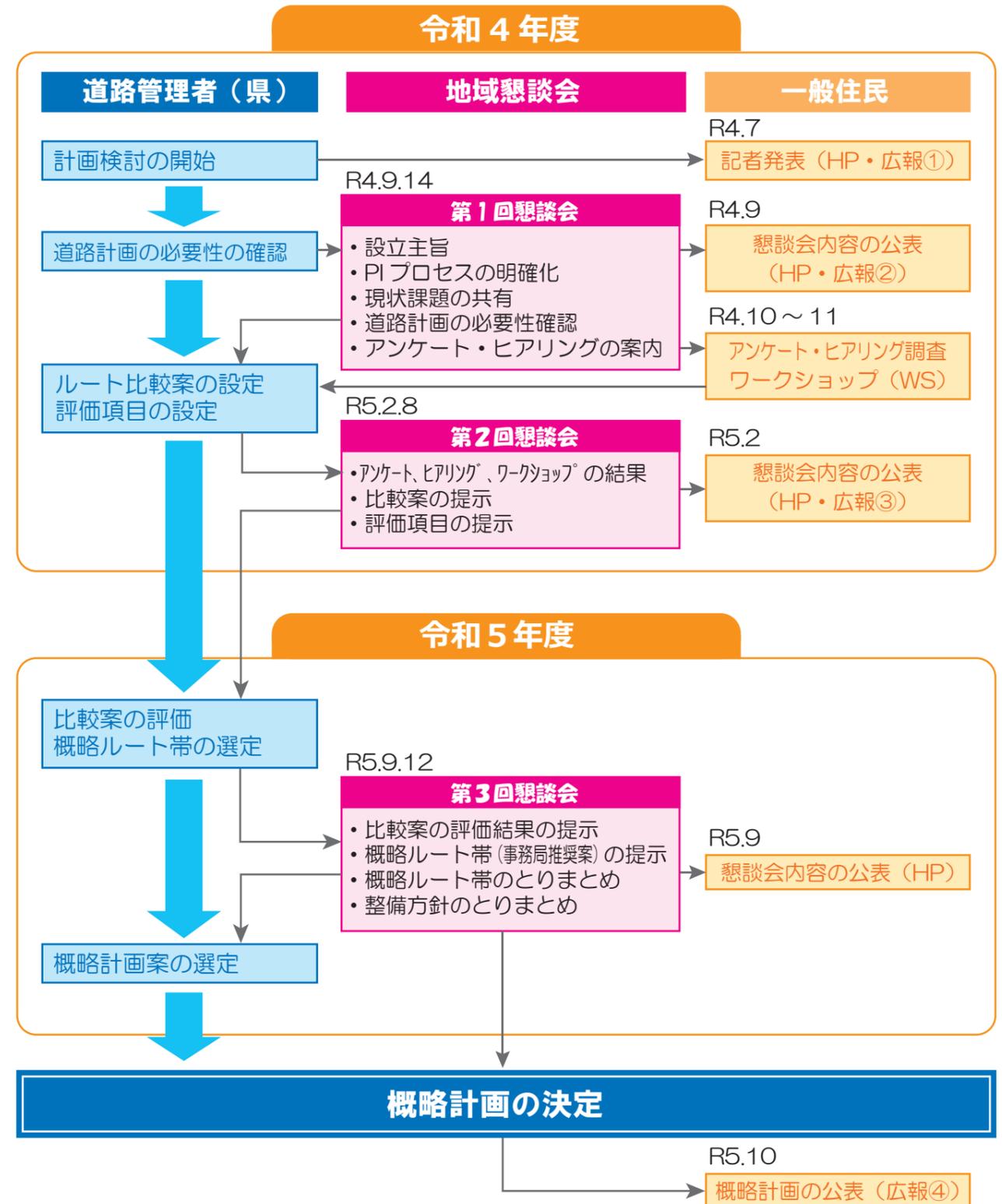
はまなすラインだよりの発行
概略計画の検討状況、懇談会での議論内容などについてお知らせしました。

はまなすラインだよりは第4号まで発行しているよ

PIプロジェクトイメージキャラクター「ごんべっぴ」

検討の進め方

検討にあたっては、地域住民や道路利用者に情報を提供するとともに、意見を伺いながら検討を進めてきました。頂いた意見を踏まえ、現状課題の共有や複数の比較案の提示、比較評価など、全3回の地域懇談会を経て、概略計画を決定しました。



アンケート

PI対象路線近辺の地域住民（むつ市、大間町、風間浦村、佐井村）を対象に『沿道住民アンケート』を、また、各市町村の主要施設で『道路利用者アンケート』を実施し、約900通の回答をいただきました。

ヒアリング

道路利用に関わりの深い企業や団体などを訪問してヒアリングを実施し、様々なご意見をいただきました。

国道279号の問題だと思える点は何ですか？

【沿道住民】

- 第1位 通行止め時に回り道がない
- 第2位 道路の幅が狭い
- 第3位 歩道や自転車道の整備が不十分

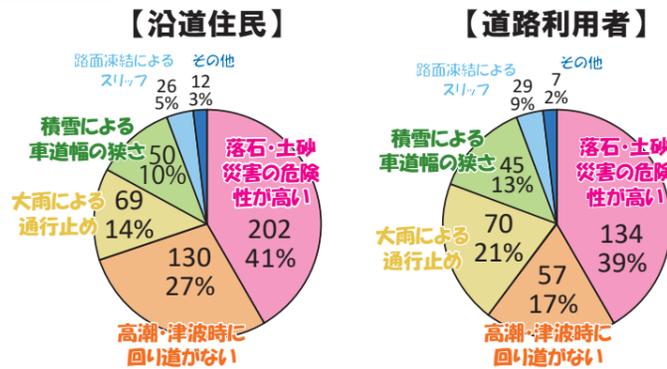
【道路利用者】

- 第1位 道路の幅が狭い
- 第2位 通行止め時に回り道がない
- 第3位 カーブがきつい

異常気象や災害時の問題点は何ですか？

■ 沿道住民・道路利用者ともに、約4割が「落石・土砂災害の危険性が高い」と答えています。

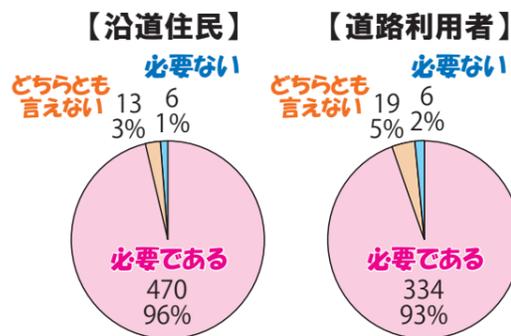
次いで「高潮・津波時に回り道がない」（沿道住民：約3割・道路利用者：約2割）、「大雨による通行止め」（沿道住民：約1割・道路利用者：約2割）の回答が多くなっています。



国道279号整備は必要だと思いますか？

■ 沿道住民・道路利用者ともに9割以上が「必要である」と答えています。

- 「必要ない」と答えた方の意見
- ・ 『現在の国道279号で十分だから』
- ・ 『完成するまで時間とお金がかかりすぎるから』等



国道279号に必要な機能は何ですか？

- 第1位 災害時に代わりになる道路となること
- 第2位 冬期にも安心して通行できること
- 第3位 原発事故の際に早く避難できること

ご協力ありがとうございました！



□ 下北交通株式会社

『台風による通行止めは想像しない出来事だった。むつ市内の病院や学校へ安心して通れる道が必要。』

□ 風間浦郵便局・むつ郵便局

『むつ市や青森方面からの荷物が早く着けば、お客様へ早く届けられる。』

□ ヤマト運輸 大畑営業所

『冬や大雨時に安全な走行ができる道路が重要。』
『輸送時間が短縮すれば、集荷時間を長くできる。』

□ 風間浦漁業協同組合

『輸送時間が短縮すれば、漁の時間を長くできる。30分でも大事。』

□ 大畑消防署 風間浦消防分署

『R3.8大雨時の通行止めは、佐井経由での救急対応となった。バイパスによる通行止めや孤立回避に期待。』

□ 風間浦中学校

『大雨や災害時のスクールバスが非常に心配。』
『むつ市からの通勤は片道1時間以上なので、安全かつ時間短縮により職員の負担軽減にも期待。』

□ 県立大間高等学校

『学校行事や公務などでむつ市、青森市への行き来の際、国道279号はカーブが多く危険な上時間がかかる』

□ 国民健康保険大間病院

『国道279号はカーブが多く、搬送時の患者負担が大きく時間もかかるため、よい道路がほしい。』
『むつ市からの人材確保に大きなプラスになる。』

□ 風間浦村総合福祉センター

『国道279号は道幅が狭く路上駐車もあるため、大型車とのすれ違いが危険。』
『むつ市からの人材確保に期待。』

国道279号の問題点は？

- 『道路が狭く、すれ違いが危険』
- 『カーブが多く時間がかかる』
- 『災害時の通行が心配』

下北地域広域避難路への期待は？

- 『時間短縮や安全性の確保』
- 『災害時の通行止めや孤立回避』
- 『より広域的な人材確保』

ワークショップ

地域の現状や今後の地域づくりについて、地域住民の各年代の方々とワークショップ形式で意見交換を行いました（計2回実施）。

第1回ワークショップ （開催日：令和4年11月17～20日）

地域の不便なところ・よいところ、地域の将来像について話をしよう

近所の人がいっぱい気にかけてくれる。
人があたたかい。人が資源。

新しいことに取組む若い人を増やす。
産業をつくり人口を増やす。

現状維持気質があるがそうはしたくない。
道路が変われば人の思いも変わる。

観光客が来やすい道路。
外に向けて発信し来て知ってもらおう。

子供が素直に育っている。
子育てしやすい環境を継続する。

地域のつながりが強い。
人も物もつながることが大事。

便利じゃないだけで不便は感じない。
自然が豊か。生活していける。

統廃合が進むが、地域校の
大間高校を存続させたい。

第2回ワークショップ （開催日：令和4年11月22～28日）

自分たちの地域づくりを考える どんな道路があったらよいだろう

自然環境はなるべく壊したくない。
海の見える景観は守りたい。

海沿いにしか道路がない。
災害に強い避難路。

凍らない道路がほしい。
安全で通りやすい道路。

もう一本の道路は必要。
早くつくってほしい。

温泉地へのアクセスを確保。

道路と海が近い。景色が良いから
パーキングを整備してほしい。

風間浦村にはコンビニがなく、
公衆トイレも冬は閉鎖になる。
休憩場所・トイレを整備してほしい。

どこからでもアクセスできる道路がほしい。
アクセスできる道路は本当に大切。

バイパスは集落からあまり離れず
アクセスが容易な位置に整備してほしい。

通過交通と生活交通を分離。
現道とバイパスの利用形態を区分。

現道の安全対策と環境対策も必要。
現状の道路を維持し新しい道路もほしい。

津波の時にとにかく高台に
すぐ上がる道路。
災害時に避難所に行ける道路。

地域懇談会

第1回

開催日：令和4年9月14日（水） 風間浦村易国間社会体育館

- 道路が寸断されると、避難したくても避難所へも行けない。山と海に挟まれた特殊な地域で、下風呂が一番危険である。
- 地域の現況としては、定住人口より交流人口が多いと思っているので道路の必要性は大きい。
- バイパスができたとして、現道の山崩れの対策はどうなるのか。津波や災害の対策も必要だと思う。
- 病院、観光、原発のことがあるので、立派な道路がほしい。
- 道路の寸断は本当に大変で、救命救急が大事である。利用しやすい安全な避難道路、使う人の事情を考慮した整備をしてほしい。
- 計画したものは早めに完成してほしい。

第2回

開催日：令和5年2月8日（水） 風間浦村易国間社会体育館

- 現道は今もまだ片側交互通行がある。工事が始まるとなると、また片側交互通行だ。工事の影響がいつまで続くかわからない。現道を使わないバイパス案がよい。
- 交通事業者として、安全、安心、快適が大事。利用する場合、目的に応じて現道かバイパスか道路が選べるのがよい。
- 下風呂はアクセスが1箇所しかなく、災害時に孤立した日和崎地区からはアクセスが容易ではない。こういう箇所を細かくみて、アクセス路を検討できないか。
- ルート比較案の評価項目について、環境・景観の評価方法を考えてほしい。
- ルート比較の際は客観的な資料やわかりやすい数値で評価してほしい。
- ルートの端部は根戸内になる。その先の蛇浦は国道事業をしてもらえないのか。

第3回

開催日：令和5年9月12日（火） 風間浦村易国間社会体育館

- Aルートは安全でもう一本の道路として望んでいたルートだ。
- 防災の面からAルートが良い。
- 道路は現道に比べ、何キロくらい山側を通ることになるのか。
- バイパスはどのくらいの高さを通るのか。
- 地震や津波の際に歩行でも避難できる道路かどうかも考えてほしい。
- 温泉が地下を通っているが、道路整備による影響はあるか。
- 工事の段階で海への影響を極力最小限にしてほしい。
- 令和3年8月の豪雨災害で孤立化した時、道路の必要性を痛感した。
- 今後も災害は起こりうる。避難路は早く実現してほしい。
- 早くいい道路をつくってほしい。



▲ 地域懇談会の様子

「評価項目の設定」と「比較案の評価」

■ 評価項目の設定

3つのルート案について、それぞれの効果や影響を客観的に評価するために、5つの分野における評価項目を設定しました（右記）。

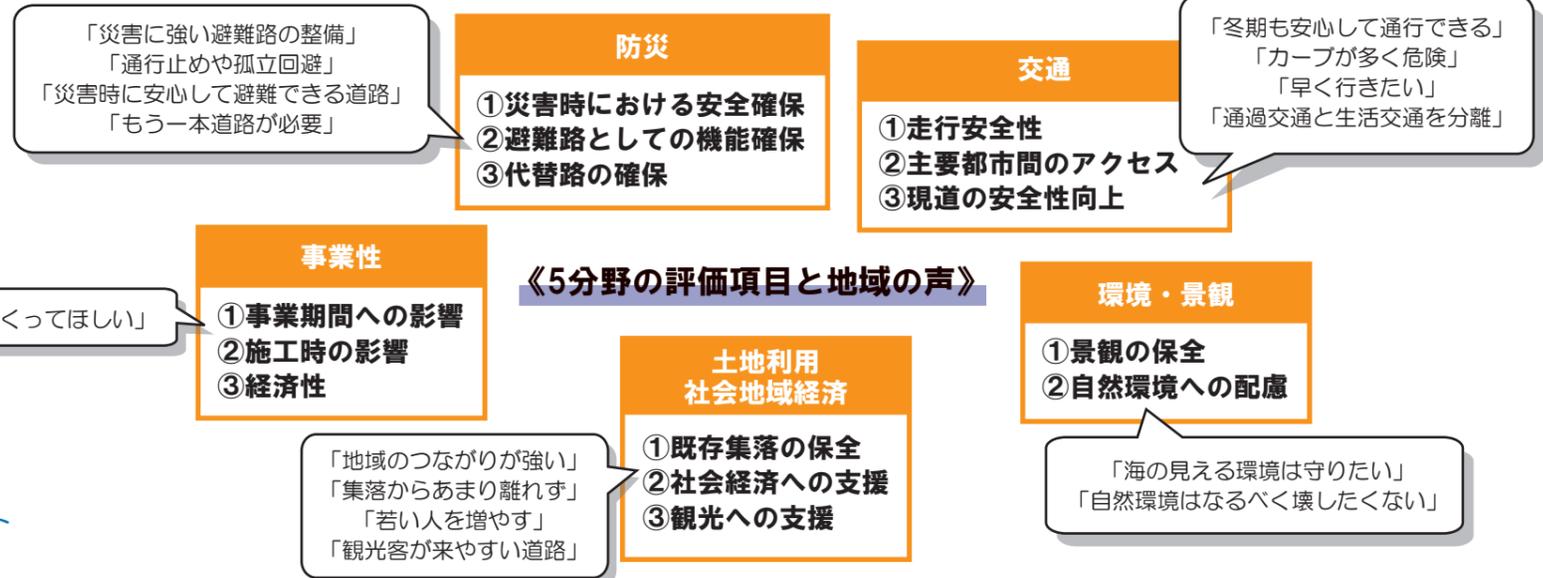
評価項目は、沿道住民の方々から頂いた意見を参考に、道路管理者として技術的・政策的な観点から設定しています（全14項目）。

■ 比較案の評価

評価項目毎の評価結果に基づき、各ルートへポイントを付与します。各ルートの合計評価ポイント数を100点満点に換算した点数で比較評価しました。

〈配点〉 1位（赤）=2ポイント、2位（黒）=1ポイント、3位（青）=0ポイント

〈合計〉 14項目×2ポイント=28ポイント



比較案		分野	防災	交通	環境・景観	土地利用・社会地域経済	事業性	
		評価項目	①災害時における安全確保 ②避難路としての機能確保 ③代替路の確保	①走行安全性 ②主要都市間のアクセス ③現道の安全性向上	①景観の保全 ②自然環境への配慮	①既存集落の保全 ②社会経済への支援 ③観光への支援	①事業期間への影響 ②施工時の影響 ③経済性	
8	▶▶ 全線をバイパス整備とする案 電子地形図25000（国土地理院）を加工して作成	Aルート	■ 災害危険箇所を通過する区間が少ない（2ポイント） ■ 木野部工区、農道どちらも直結するため、連続性に優れる（2ポイント） ■ 全区間が新設道路となるため代替路の確保が可能（2ポイント）	■ 急カーブがなく（R=200m以上を採用）、カーブ数が最も少ない（2ポイント） ■ 主要都市間の移動時間は現道とほぼ変わらない（46分）（1ポイント） ■ 全区間が新設道路となるため現道交通量の分散が可能（2ポイント）	■ パーキングの設置可能な平場が最も多い（3箇所）（2ポイント） ■ 山林・原野への影響面積が最も大きい（0ポイント）	■ Bルートに比べ支障物件数が少ない（31件）（2ポイント） ■ どの集落間においても、現道より移動時間は長くなる（0ポイント） ■ 観光地間の移動時間は現道とほぼ変わらない（1ポイント）	■ 土工量がBルートよりは少ない（1ポイント） ■ 全区間バイパスとなるため、現道の交通制限は不要（2ポイント） ■ 事業費がBルートより安価（全体事業費率：100%）（1ポイント）	72点 20/28ポイント
	▶▶ 全線を現道拡幅・嵩上整備とする案 電子地形図25000（国土地理院）を加工して作成	Bルート	■ 災害危険箇所を通過する区間が最も多い（0ポイント） ■ 木野部工区、農道どちらも直結しないため連続性に劣る（0ポイント） ■ 全区間現道活用のため、代替路の確保が不可（0ポイント）	■ 平坦部が多いが、カーブ数が最も多く、急カーブがある（R=200m未満を使用）（0ポイント） ■ 主要都市間の移動時間は現道と変わらない（48分）（1ポイント） ■ 全区間で現道を活用するため現道交通量は変わらない（0ポイント）	■ パーキングの設置可能な平場が最も少ない（1箇所）（0ポイント） ■ 山林・原野への影響面積が最も小さい（2ポイント）	■ 支障物件数が最も多い（336件）（0ポイント） ■ どの集落間においても、移動時間は現道とほぼ変わらない（2ポイント） ■ 観光地間の移動時間は現道とほぼ変わらない（1ポイント）	■ 土工量が最も多い（0ポイント） ■ 全区間現道活用とするため、長距離にわたる交通制限が必要（0ポイント） ■ 事業費が最も高価（全体事業費率：110%）（0ポイント）	21点 6/28ポイント
	▶▶ 現道活用可能区間は現道拡幅整備とし、津波危険箇所はバイパスとする案 電子地形図25000（国土地理院）を加工して作成	Cルート	■ Aルートより災害危険箇所を通過する区間が多い（1ポイント） ■ 農道と直結するため起点側の連続性は確保可能（1ポイント） ■ バイパス区間では代替路の確保が可能（一部現道を活用）（1ポイント）	■ 縦断勾配4.0%以上の区間があるが、カーブ数はBルートより少ない（1ポイント） ■ 主要都市間の移動時間は現道とほぼ変わらない（46分）（1ポイント） ■ バイパス区間では現道交通量の分散が可能（一部現道を活用）（1ポイント）	■ パーキングの設置可能な平場が複数ある（2箇所）（1ポイント） ■ Aルートよりも山林・原野への影響面積が小さい（1ポイント）	■ Bルートに比べ支障物件数が少ない（35件）（2ポイント） ■ どの集落間においても、現道より移動時間は長くなる（0ポイント） ■ 観光地間の移動時間は現道とほぼ変わらない（1ポイント）	■ 土工量が最も少ない（2ポイント） ■ 現道活用区間では交通制限が必要（1ポイント） ■ 事業費が最も安価（全体事業費率：80%）（2ポイント）	57点 16/28ポイント

概略計画の決定

比較案の総合評価

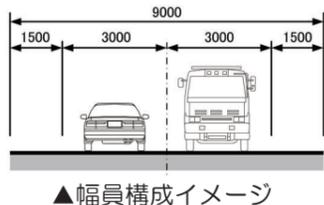
- Aルート(バイパス案)は、防災評価と交通評価が高評価であり、必要な機能として地域住民から要望意見が最も多かった「災害時に代わりになる道路」「冬期にも安心して通行できること」に最も適したルートである。
- Bルート(現道嵩上案)は、全般的に低評価であり、住民の意向に適さない。
- Cルート(バイパス+現道活用案)は、事業性が高評価であるものの、防災面や交通面における評価はAルートに及ばない。

概略計画の内容

○起終点：風間浦村易国間かざまうらむらいこくま～むつ市大畑町木野部おおはたまちきのつぶ

○計画諸元：

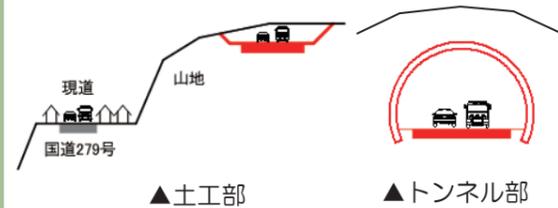
- ・道路延長 約14km
- ・設計速度 50km/h
- ・車線数 2車線
- ・幅員 9.0m



○主な連結する道路：

- アクセス路(5箇所)
- ①桑畑集落内
 - ②焼山崎付近
 - ③下風呂集落内
 - ④旧下風呂小学校付近
 - ⑤下北自然の家付近

○主たる構造：



概略ルート帯は、総合点が最も高く、「津波浸水想定区域外となる広域避難路としての機能」及び「代替路機能」を有する、

Aルート(全線バイパス案)

に決定しました

※この図は、あくまでもバイパスのイメージであり、今後の調査・設計により、詳細ルートの絞り込みを行います。

山側の高台を通るんだね!



▲全線バイパス案のイメージ図

○概略ルート帯

